

個別施設計画(素案)に係る意見交換会の概要

1 開催趣旨

当初予定していた個別施設計画(素案)に係る地区別説明会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面による質問・意見募集に変更したことに伴い、参加者を地区役員等に限定した意見交換会を開催することとし、各地区住民自治協議会に開催を依頼したもの

2 開催日程 (24 地区、25 回)

開催日	地区名	参加人数
5月15日(金)	豊野地区	14名
5月18日(月)	長沼地区	12名
6月4日(木)	若槻地区①	14名
6月9日(火)	大豆島地区	17名
6月13日(土)	浅川地区	36名
6月17日(水)	第五地区	6名
6月18日(木)	七二会地区	14名
6月19日(金)	第二地区	21名
6月22日(月)	若槻地区②	32名
6月25日(木)	篠ノ井地区	19名
7月3日(金)	芋井地区	41名
7月4日(土)	朝陽地区	19名
7月9日(木)	松代地区	24名
7月14日(火)	川中島地区	22名
7月15日(水)	若穂地区	26名
7月16日(木)	戸隠地区	22名
7月16日(木)	吉田地区	25名
7月21日(火)	中条地区	27名
7月28日(火)	大岡地区	14名
7月29日(水)	第一地区	20名
8月4日(火)	更北地区	12名
8月5日(水)	古牧地区	26名
8月6日(木)	安茂里地区	22名
8月19日(水)	小田切地区	15名
8月20日(木)	信州新町地区	30名

計 530名

3 非開催地区 (8地区)

第三地区、第四地区、芹田地区、三輪地区、古里地区、柳原地区、信更地区、鬼無里地区
(感染症リスクや施設の状況、対策の内容等を勘察し、各地区住自協で非開催を判断したもの)

4 主な意見等

別紙のとおり

公共施設（建築物）個別施設計画（素案）にかかる

地区別意見交換会 開催経過

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
令和2年 5月15日 (金)	豊野地区	14人 (住民自治協議会役員会)	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の方針が示されているが、当地区は災害復興の段階で、廃止等の話は聞きたくない。中心部と違い合併地区は利用できる施設も限られる。豊野の復興を検討する中で施設の在り方を考えていくべき。 (これから復興計画に基づき協議していく段階であり、復興推進課と公共施設マネジメント推進課も一緒に相談してまいりたい。10年間の基本的な方向性を個別施設計画に示し、ひとつずつ議論してまいりたい) 東山運動場は廃止するという事か。 (運動場を廃止ではなく、クラブハウス等の建物の対策を示しています) 地域の賑わい創出の視点から復興計画と併せて検討して欲しい。
5月18日 (月)	長沼地区	12人 (復興対策企画委員会小委員会、区長ほか)	<ul style="list-style-type: none"> 長沼体育館は、長寿命化となっているが被災した体育館を修理して使うということか。 (復旧する施設を長寿命化するという考え方ですが、具体的な復旧の方法は決まっています) 総量20%縮減目標を掲げているが何を基準としているか。長沼地区で20%縮減するという事か。面積ではなくコスト削減を目指すべきではないか。 (長野市全体の建築物の延べ床面積を20%縮減することを目標としていますが、各地区一律に20%縮減はできないと考えています。ご指摘のとおりコスト削減が目的ですが把握しやすい面積を数値目標としています) 縮減を進める中で、建物の集約化・複合化をどのように考えているか。 (複合化により共用スペースが削減でき、多世代交流や利便性向上等の効果を期待しています) 児童センターの複合化方針だが、現在、小学校の教室を借りて運営しているが苦勞しているので単独での復旧を検討して欲しい。

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
6月4日 (木)	若槻地区 ①	14人 (企画調整 会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の40年間の費用推計（中長期保全計画）が示されているが、市全体の財政の推計についての説明があつてしかるべき。 (5年先の財政推計は公表していますが、不確定要素もあり長期の推計は難しいと考えています。公共施設を維持するための増税は考えづらいし、受益者負担も限界があるため総量縮減が必要と考えています) ・耐震性欄の表示「－」の意味は。 (耐震性を有する施設は「○」を表示し、耐震性が無いもの及び未確認のものが「－」です)
6月9日 (火)	大豆島地区	17人 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ施設99施設は別扱いとの説明だがどうなるのか (上下水道施設や公園施設がインフラ施設であり、水道や公園の計画の中で検討するものです) ・オリンピック施設の維持管理が大きな負担ではないか。順番に廃止していくべきではないか。 (今後、長寿命化が必要ですが、非常に大きなコストが掛かるため平準化も検討していきます。コスト面からは大きな負担ですが、経済波及効果など長野市の財産でもあり、総合的な検討が必要です)
6月13日 (月)	浅川地区	36人 (常任評議 委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・浅川西条人権同和教育集会所が廃止となっている。方向性はやむを得ないとしても、利用者が多いのでソフトラディング出来るような支援と時間的配慮が必要。 (人権同和集会所は地元等への譲渡を検討する方針であり、施設ごとに担当課から相談させていただくので、代替機能も含めて検討させていただきます) ・事後保全の考え方は、目標使用年数に達した時点で改めて対策を検討するのか。 (壊れた部分を補修しながら使えるだけ使う考え方です。基本的に建て替えは行わないという整理です) ・公民館分室も廃止であるが、人権同和集会所の「無償譲渡」と表現が異なっている。市と協議する窓口は施設所管課か公マネ課か。 (基本的な窓口は施設所管課となります。有償・無償は施設毎に相談する中で検討させていただきます) ・統廃合して新たな施設を作る場合は個別施設計画とは別に取り扱うのか。 (新規整備は出来る限り抑制する方針ですが、真に必要な施設整備は公マネ課も関与し進めていきます)

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
6月17日 (水)	第五地区	6名 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・第五地区分館など、各施設についての個別の説明は行ってもらえるか。 (要望があれば、施設所管課で対応します。全体的なマネジメントの説明等が必要であれば公マネ課も一緒に対応します) ・山王保育園について対策が「集約化」となっているがどのように集約化を進めるのか。 (具体的な集約化の方法等は決まっていません。近隣の施設の建て替えや山王保育園自体の建て替えの時期に他の施設との集約化や複合化を検討することになると考えています) ・立体駐車場は条例廃止されたがこれからどうなるのか。地域からも様々な意見・提案もある。市が売却した後の使われ方を心配する声がある。 (現在、都市計画決定を変更する手続きを進めています。売却を含めて後利用にかかる議論と手続きを進めて行くこととなります。検討の進捗に応じて地元にも説明させていただきます) ・小学校や保育園など教育にはお金をかける必要がある。全ての施設を並べて見せる必要はないのでは。 (市が保有する施設を網羅して市民に示すことが、個別施設計画を策定する目的の一つです)
6月18日 (木)	七二会地区	14人 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・岩草公民館が地元区へ譲渡の方針になっているが、地元が受けなかったらどうなるか (普通財産を地元区で利用しているので譲渡を検討するとしていますが、地元で不要であれば解体になります。「譲渡」は、将来的な解体費の発生などハードルが高いことも認識していますので、個別に相談させていただきます) ・小学校笹平分校は事後保全となっているが、体育館を投票所として使う以外は地元では利用していない。ハザードマップから避難所にはならないので壊してもらって構わないのでは。 (補助金の処分制限等からすぐには取り壊せないものと考えます。意見は参考にさせていただきます)

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
6月19日 (金)	第二地区	21人 (総務委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・第二地区分館も含めて、市内の公民館の分館は一律「廃止」の方針なのか。 (公共施設等総合管理計画の中で、公民館は本館を維持し、分館・分室は改築せず統合や譲渡を検討することとしています。今回の計画においても廃止・解体等に整理しています。個々の施設ごとに状況が異なるので、利便性を考慮しながら協議を重ねて進めてまいりたい【所管課より回答】) ・今後どのように地元と協議していくのか。 (現時点ではお答えできない。第二地区分館は城山公園の再整備エリアに含まれていることもあり、公園全体の検討も踏まえて相談させていただきます【所管課より回答】) ・湯福老人福祉センターが長寿命化になっているが、建物だけ長寿命化ではなく、事故が多いので周辺道路の再整備が必要である。
6月22日 (月)	若槻地区 ②	32人 (住自協役員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・上野が丘団地は廃止との報道があったがどうなるのか。 (市営住宅の個別施設計画は、昨年度策定されたので報道されたものだと思います。老朽化が進んでいるので順次整理していく方針です。現に居住している方には住宅課が個々に相談していくものと考えます) ・北部市民プールについて、皐月保育園の建設地として廃止の話が出たがどうなるのか。 (屋外市民プールの個別施設計画は、昨年度策定されたので本日の資料に掲載していません。計画の中で、城山市民プールと北部のどちらか一方を残すことにしています) ・公共施設の維持に大きな費用が必要なのは理解できるが、利用者数などが分らないと判断できない。 (本日は概要版で説明していますが、計画の本編には利用者数やランニングコストを掲載していますのでご覧いただきたい)

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
6月25日 (木)	篠ノ井地区	19人 (三団体交流会)	<p>・南部図書館について、これまで何度も要望し、市議会でも質問されているが具体的なスケジュールが示されていない。①図書館整備の基本構想を検討するとの話もあったが検討結果は如何。②駐車場の確保も重要であり立地適正化計画に沿った篠ノ井駅周辺に複合施設として整備すべき。③改築を前提に耐震化してきていないが、耐震性が無い状態は看過できない。</p> <p>(①②篠ノ井駅西口への整備を視野に検討してきましたが、JR貨物との協議も進んでいない状況であり、本日、方向性を申し上げることが出来ません。複合化についても検討中です。台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響なども踏まえて総合的に検討しています。③耐震性については、まず耐震診断が必要であるため財源も含めて検討しています。ご理解をお願いします【所管課より回答】)</p> <p>・商店会は当初西口への移転に反対であったが、他都市の図書館を視察して来て、西口でもまちの活性化につながることを理解できた。長野市も先進的な事例を参考に進めてほしい。南部図書館について意見交換の場が少ない。耐震性も不安要素。</p> <p>(サウンディング型市場調査実施後に、なかなか市の方針が定まらないことにお詫び申し上げます。まず耐震診断を実施して検討を進め、皆様に方針を提案したいと考えています)</p> <p>・集約化により篠ノ井から施設がなくなれば他地区に行けということになる。コストが強調されているが廃止解体すれば土地の売却益等が収益となるのではないかと。国・県との複合化等を進めないのか。</p> <p>(どの施設とどの施設を「集約化・複合化」するのは計画策定後の検討になります。篠ノ井に残ることもあれば他地区に集約されることもあり得ます。収益については市全体の財政の中で使われるものですが、公共施設にかかるコストを賄うだけの収益は見込めません。国・県との連携は必要と考えますし、国・県も基本は同じ考え方ですが、現実にはタイミングや費用負担などの課題があります)</p> <p>・7つの公民館分館が廃止の方針だが、篠ノ井地区住民4万2千人の活動や組織は続いている。分館が無くならないようにしてほしい。</p> <p>(地域の皆さまの意見と、合築の施設はJAの意見を聞きながら検討を進めていきますので協力をお願いします)</p>

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
7月3日 (金)	芋井地区	41人 (区長部 会)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校第一分校が廃止の方針だが、多目的ホールを地元で利用しているので継続して欲しい。支所はJAの所有地で地盤も悪いと聞く。しっかり対応して欲しい。 (多目的ホールの地元利用は認識しており、何時、どのように整理していくかは相談させていただきます。支所敷地については現在地盤調査中で、その結果を踏まえて地元と協議しながら来年度基本設計に進めたいと考えています) ・分団詰所は地盤が傾いているが現在地で建て替える方針か。 (支所の整備と併せて検討していきます) ・担当課に連絡済だが、アゼイリア飯綱が民営化され体育館が避難所になっているにも関わらず、コロナの影響か現場に人がいない状況で災害時に対応できるのか。飯綱エリアに会議の場所も無いことから対応を検討されたい。 (改めてご意見いただいたことを担当課に伝えます) ・地元は社会体育館を「廃止」で提言したが、継続するなら外構が暗く危険なので照明を付けて欲しい。
7月4日 (土)	朝陽地区	19人 (役員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・支所・公民館の整備を要望しているが、現状は道と川で分断されており、一体的に整備する土地が必要。地元で候補地を検討して所有者にも内諾を得ているが時間が経過して土地を確保できなくなることを危惧している。市が先行して土地を確保することはできないか。 (土地を購入するには事業化の計画が必要です。地区の状況は承知していますが、現在、被災地区の復旧事業を優先しており、早期の事業化は難しいことをご理解願いたい【所管課より回答】) ・支所・公民館を整備する際には、避難所機能を確保して欲しい。 ・豪雨災害が頻発している状況を見ると建設場所の再検討も必要ではないか。 ・朝陽公民館は稼働率が高い。支所・公民館の整備を早期に進めて欲しい。 (ご意見、ご要望は検討の参考にさせていただきます)

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
7月9日 (木)	松代地区	24人 (運営委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館豊栄分館が廃止・解体等であるが、合築しているJAは了解しているのか。 (豊栄はJAの支所機能も止まっています。JAと複合化の公民館が他にもあり定期的に協議を行っています。廃止を進める際には改めて関係の皆さまと相談させていただきます) ・ 事後保全是補修しながら使うとの説明だが、どこまで直せるのか。以前から水洗化等を要望しているが。 (補修とは、壊れた部分を必要最小限手直することで、事後保全とした施設に大きなお金はかけられないという考え方です。その点でも個別施設計画は重要な計画となります。) ・ だとすれば学校を地域公民館的に使わせて欲しい。学校で飲食は出来るのか。社会教育法第6章に学校施設の利用が規定されており、市全体で学校施設を利用しやすい方法を作って欲しい。 (学校の在り方は教育委員会が各地域と相談している状況です。学校集約化や空き教室の活用など様々な課題があると認識しています。児童生徒数は減少していく中で施設の使い方を整理していくのは重要な視点です) ・ 公民館分館や人権教育集会所が廃止となっており恣意的に感じる。公民館分館を廃止するなら代替施設を整備してからにして欲しい。 (公民館は本館をしっかりと維持していくために分館を整理していく考え方です。代替施設を整備してから廃止というのは、お気持ちは分かりますが困難と考えます) ・ 公民館寺尾分館は放課後子どもプランで利用しているので簡単に廃止はできない。地元譲渡は有償か無償か。税負担はどうなるか。 (プラン事業を無視して廃止を進めることはありません。公共的団体であれば無償譲渡や固定資産税の減免も可能と考えますが、具体的には相談させていただく中で整理させていただきます【所管課より回答】) ・ 地域にとって大きな課題は「防災」と「福祉」である。指定避難所だけでは足りないが、その観点で検討しているのか。地域交流や地域福祉活動の拠点となる施設は必要。地元譲渡と言われても地元の負担が益々大きくなる。財政的な問題は理解するが地元負担と市の財政のバランスが重要。 (避難所の課題はコロナ対応で更に大きくなっており「分散避難」も検討周知していきます。地域の福祉活動の拠点についても慎重に検討し相談させていただきますが、出来る限りハコモノに頼らないサービスの在

			<p>り方も検討する必要があると考えています)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画は年度内に策定とのことだが、施設の廃止は条例改正が必要だが、地区への説明はいつ頃になるか。(施設ごとに異なります。関係者と議論を重ねて、市議会へ説明できる段階で手続きを進めることとなります。10年間の計画の中で進めたいと考えていますが、市側の努力が必要です)
期日	地区	参加人数	主な意見等 (回答要旨)
7月14日 (火)	川中島地区	22人 (役員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権同和教育集会所の譲渡について、今年度中に決めるということか。 (計画の方向性は今年度決定したいと考えていますが、施設ごとに状況が異なるので具体的には10年間の中で決めて行きたいと考えています。どういう形なら地元へ無償譲渡できるか整理しています。いつ実施するかは相談させていただきます【所管課回答】) ・公民館分館の廃止方針についてJAに説明しているか。利用者のために代替施設の検討を行っているか。 (JAに対する説明は行っています。利用者がいるのですぐに廃止はできませんが、代替となる場所を探して協議を進めていきたいと考えています【所管課回答】) ・中津分館は年間1万4千人が利用している。慎重に判断すべき。川中島分館は老朽化して使い勝手が悪い ため利用者が少ないが住民ニーズは高い。 (個別に相談させていただきますが、人口減少が進み財政が厳しくなる中で、今までどおり施設を残していくことは出来ません。代替施設についても、狭くなったり遠くなったりは避けられないことを前提に相談させていただきます) ・川中島は人口が増えているのに、分館廃止というのはミステイク。施設を使うことによる利益もある。 (各地区により状況は異なりますので、皆さんと協議を重ねて行きたい【所管課回答】)
7月15日 (水)	若穂地区	26人 (住自協理事会)	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の都合により書面での意見提出とする

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
7月16日 (木)	戸 隠地区	22人 (総務委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡の場合の金銭的なものはどうなるか。素案は概ねこれで決定なのか。 (個別に協議させていただきます。市としてはこの方向性で進めたいと考えています) ・本日初めて聞いたが、これで決定されては困る。 (この場で承認いただくということではありません。書面での質問・意見募集やパブリックコメント等で皆さまのご意見をいただきたい)
7月16日 (木)	吉 田地区	25人 (住民自治協議会役員ほか)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画が決定されてから実際に事業化等が動くのは何時か。10年間で計画通りに実現するのか。公マネ課が進捗管理するのか。 (既に動いている施設もあれば、道筋が見えない施設もあります。長寿命化は計画的に進めたいが、廃止や集約化も適切に進めたいと考えています。公マネ課としてPDCAサイクルにより進捗を働き掛けていきます。10年間の方向性を計画に示していますが、予算も必要であり施設ごとに判断するため時間がかかります) ・個々の施設にかかっているコストと対策に必要なコストを示すべき。改修と改築のコスト比較が必要。 (長寿命化できる施設は80年使用するための改修を行うという考え方です。各施設のランニングコストは本編に示していますが、対策コストはあくまで推計であり施設別には示していません) ・運動公園総合体育館は改築に向けて整備方法を検討とあるが、規模・機能など何を検討するのか。 (総合体育館は建て替え時期を迎えており国体で利用するため改築・整備が必要な状況です。財源や公民連携も含めた改築の手法、必要な施設規模などについては、これから検討していきます) ・北部勤労者青少年ホームが廃止を検討とあるが、他の類似施設も廃止され受け皿がないのでは。 (中部勤労者青少年ホームなど今後も継続する施設はありますが、遠くなる等の負担は生じてしまいます。利用者の皆さまと相談しながら検討を進めていきます) ・PDCAサイクルの中で計画策定後に方針が変更されることはあり得るか。 (可能性はあります。ただし計画を決定したら実現していくことが市の責務であると考えています) ・学校や保育園など将来への投資は大切。削減も必要だが新たな施策も考えるべき。 (真に必要な施設は整備していきます。何が必要なのかしっかり検討してまいります)

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
7月21日 (火)	中条地区	27人 (合同役員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・質問用紙の提出期限はいつか。 (7月末まで。様式は、支所にあり、ホームページからも印刷可能です。電子申請サービスも受付しています)
7月28日 (火)	大岡地区	19人 (合同役員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡温泉は後期に民営化となっているが、次回も指定管理とする可能性はあるか。 (具体的な検討を重ねて民間譲渡を行う方針であり、指定管理期間の5年が過ぎたらすぐに譲渡ということではありません【所管課回答】) (民間事業者から、積極的な提案があれば、早期に民営化が進む可能性はあります) ・大岡アルプス展望公園キャンパスハウスは、「小さな拠点」としても重要な施設である。 (当該施設は、解体ではなく、用途廃止して貸付又は譲渡をしていきたい。指定管理者は、自主事業としてレストランやパンの販売等しており、用途廃止することで自由度も上がると考えています【所管課回答】) ・「民間譲渡等」としている施設は、譲渡先にあてがあるのか。 (ほとんどの施設は譲渡先を特定していない。計画では方向性を示しており、具体は今後の検討です) ・縮小や解体、民営化は、暗いイメージであり、もっと明るい話を聞きたい。 (2040年に向けた長期戦略プロジェクトも進めており、地域と一緒に盛り上げていくことが必要です) ・旧聖山パノラマスキー場は、夏季に小中学生が利用しており、廃止は妥当なのか。また、大岡デイサービスは「要検討」となっているが、移転してでも残してもらいたい。 (スキー場内に残っている建物の解体を検討するものです【所管課回答】) (大岡デイサービスの今後について、現段階で判断できないので「要検討」としています) ・必要のない施設を廃止するのは仕方がないことだが、もっと早くから話を進められなかったのか。長野市は、他市に比べ動きが遅いのではないか。 (公共施設マネジメントは、一つ一つの施設を見直していくため、時間がかかる取組です。ご理解をお願いします)

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
7月29日 (水)	第一地区	20人 (役員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元で意見交換した上で意見を伝えたいが説明に来てくれるか。 (期限にこだわらず具体的な要望等を寄せていただきたい。説明は出前講座制度もあり対応可能です) ・ 城山公民館第一地区分館を廃止して地元へ譲渡とのことだが、分館は避難所になっており、廃止の場合は代替案が示されないと具体的に検討できない。いつまでに示すのか。 (代替案がなければ廃止はできないと考えています。現段階では10年間の方向性を示したもので、今後、地元と協議しながら期間内で進めてまいりたい) ・ 数年前に公民館分館の耐震補強を行ったが、解体するものに、なぜ金をかけたのか。 (「解体等」には、貸付や譲渡も含まれ、地域公民館との合築である本施設は、地元譲渡による一体的な管理も選択肢であり耐震補強も無駄にはならないと考えています) ・ 新興住宅地とは異なり、第一地区は町全体が古いので古い建物が多い。古くなったから解体ではバランスがとれない。 (より新しい施設、利用者が多い施設を残すのが大原則ですが、中山間地や中心市街地から施設が無くなってしまわないように地域の皆さんと相談しながら、何を残すかを決めていきます) ・ 加茂小と西部中は永続的に残すと解釈してよいか。 (小中学校は、教育委員会で地元との相談を着手したところであり、具体的な方向性を示すことができないため、素案では全て継続の長寿命化としています。少子化の状況等により今後、見直すこともあり得ます) ・ コンパクトシティ構想や20年先のまちづくりを見据えて考えるべき。地元の「これだけは譲れない」という意見は反映してほしい。 ・ 市の収支が合わないから廃止するとの説明だが、財政状況の説明がないと納得できない。使っていない市営住宅の土地を処分して収入を得るなどを考えるべき。

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
8月4日 (火)	更北地区	10人 (正副会長 会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館分館の年間利用者数は、稲里 18,000 人、小島田 8,600 人、真島 3,600 人で真島以外は利用率が高い。分館を譲渡されても継続して管理できるか疑問。今後の見通しは。 (どんな条件ならば譲渡が可能か、相談しながら選択肢を探っていきます。譲渡できない場合は廃止となりますが、条例の改正が必要となるので、すぐに使えなくなることはありません) ・ 小島田分館は、災害の際は地区の対策本部をここに作るつもりであり、公民館活動の場だけではない。通常かかる経費も、それほど大きくないのに、なぜ分館を無くさなければならないのか。 ・ 譲渡による地区負担や補助金はどうなるのか。経費だけの問題ではなく、高齢化社会における施設の役割などどう考えるのか、丁寧な説明をお願いしたい。 (地区の拠点機能については、今後、相談していきますが、代替施設については、場所が遠くなったり面積が狭くなったりすることも前提にご相談することになります。公民館分館については、地域公民館として使っていただけないかという提案であり、建替えや改修に補助制度があります) ・ お金がないことは目に見えている。学校に公民館や集会所等の機能を入れられるように、トータル的に見直し、地域が機能するよう多角的に検討してほしい。 (一定のエリアで複合化・多機能化を考えるエリアマネジメントでは、学校施設が核になると考えます) ・ 5～10年後には子供たちは減っていくので、先を見据えて学校利用する等の手法は提案された方がよい。 ・ 分館は、地域の活動拠点としても有意義な活動を行っており継続が妥当ではないか。 ・ 分館の地区への譲渡について、地域公民館と同じ形として捉え、申請すれば補助が出るとのことだが確認をしたい。高齢者の活動場所が無くなることは腑に落ちない。 (補助金について、はっきりとは申し上げられません。ご容赦いただきたい)

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
8月5日 (水)	古牧地区	26人 (企画調整委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設は、災害時には避難所として利用できるようにするべきと考える。 (市が指定した避難所以外で地域が一時的な避難場所として想定している施設があることは承知しています。市有施設だけでは避難所の受け皿として不足するため、今後、分散避難を検討・周知しなければならないと考えています) ・平林倉庫が地元へ譲渡となっているが具体的に教えてほしい。 (現在、普通財産として地元で活用いただいています。有償か無償か、解体費はどうするか等、これから相談させていただきたい) ・中山間地域と都市の中心部とでは考え方が違うと思う。古牧地区は支所・公民館の利用率が高いので、継続するうえで施設の増築等が必要である。そういった発想がないのであれば、本日のような説明は必要ないと言いたい。 (素案を案にする際に検討します。真に必要な施設をしっかりと残していくため施設を整理していかないと財源が不足するので、個別施設計画を策定していくことをご理解いただきたい)
8月6日 (木)	安茂里地区	22人 (役員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・場所は第五地区になるが、地区内の子供の通学先である「裾花小学校」を記載できないか。 (資料が複雑になる地区もあり、現状でご理解いただきたい。なお、小中学校については、現時点では全て「継続・長寿命化」となっています) ・差出中地域公民館が「地元譲渡」となっているが具体的に教えてほしい。 (有償・無償等譲渡条件やその時期については、これから相談させていただきたい)

期日	地区	参加人数	主な意見等（回答要旨）
8月19日 (水)	小田切地区	15人 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財等保存施設は、「継続・解体等」になっているが、収蔵物はかなりの量があり保管場所はどこになるのか。また、小田切資料館として一部使用しており、文化財等保存施設とは別に考えてもらいたい。 (合併により博物館施設が増えたため、再編が必要になっています。収蔵品についても順次整理することになります。個々の施設で状況が異なりますので、地元の皆様と相談しながら進めていきます) ・青少年錬成センターは「借地」となっているが、市有地ではないのか。取得することはないのか。 (一部、借地があり、購入という選択肢がないわけではないが、基本的には借地にある施設は市有地に移転し、借地をお返しするのが合理的と考えています) ・小田切農村環境改善センターの対策は、「消防団詰所といった機能を別の建物に集約することを検討する」とあるが、消防団詰所の行き場所を考えているのか。 (いまは決められないので「要検討」としています)
8月20日 (木)	信州新町地区	30人 (住自協役員、区長)	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡の際は、受け手側の金銭面が厳しいなど条件が合わないこともあると思うが、じっくりと話し合って進めてほしい。廃止や取り壊しにより、利用者に立ち退きを要求する場合は、丁寧に合意の上進めてほしい。 (譲渡する際は、それぞれのケースに応じた対応をすることになります。今後も丁寧に進めていきますが、施設利用者の方々に、厳しい財政状況等を理解していただくようお願いします) ・ミュージアムは、現在コロナウイルス対策のために休止中であるが、再開せずこのままなくなるのは残念である。建物に窓を開けて再開することはできないか。 (令和4年3月31日の賃借期間終了に伴い、廃止する方針です。建物に窓をつけるという提案については、賃貸物件のため困難です。展示については、他の施設の利活用をお願いします) ・日原文化財収蔵庫、信州犀川交流センター、旧日原保育所の3施設は、「廃止・解体等」となっているが、地区の集会場所がなくなってしまう。地域公民館を借りると金銭的な負担が大きくなる。 (改めてご相談させていただきますが、総量削減を図る中で役割を終えた普通財産等は整理していかざるを得ないと考えています)
	計	530人	

※この意見交換会は、個別施設計画（素案）の概要、計画の概要版から地区の公共施設を抽出した一覧等を配布しながら説明したものです。